

| 科目名<br>Course Name   |                        | 開講年次                     | 開講学期          | 曜日・時限                  |
|--|------------------------|--------------------------|---------------|------------------------|
| 医事コンピュータ IV<br>Computer for Medical Work IV  |                        | 2年                       | 後期            | 別途、時間割参照               |
| 単位数  | 授業の形態                  | 授業の性格                    |               | 履修上の制限                 |
| 2単位  | 演習                     | 選択                       | (電子カルテ検定対策講座) | 医事コンピュータ I・II・III履修者のみ |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目   |                        |                          |               |                        |
| 医学一般の科目  |                        |                          |               |                        |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目   |                        |                          |               |                        |
| 医事コンピュータ I・II・III 医療秘書   |                        |                          |               |                        |
| 担当者に関する情報  |                        |                          |               |                        |
| 氏名   | 研究室の場所                 | オフィスアワー                  |               | 電話番号・メールアドレス           |
| 古川貴子   | 本館2階                   | 火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く) |               | 授業中に指示します              |
| 授業の概要  |                        |                          |               |                        |
| 医療業界は日進月歩であり、臨床も複雑化している。その中で病院業務もIT化により多様な医療事務の知識や実務が求められている。演習問題を中心に、現場で求められている医事課の仕事を理解し、日々変化する現場状況を踏まえながら学習を図る。 |                        |                          |               |                        |
| 授業の目標  |                        |                          |               |                        |
| ①ICDとDPCの関係を説明できるようにする。<br>②DPC算定ができるようにする。<br>③初級がん登録について説明できるようにする。<br>④DPC学内認定に合格できるようにする。                      |                        |                          |               |                        |
| 授業の方法  |                        |                          |               |                        |
| 補足資料を配布し、少しでも多くの演習問題を解くことにより、DPC算定の計算方法を理解する。初級がん登録の基礎学習を図る。   |                        |                          |               |                        |
| 学習の成果(学習成果)  |                        |                          |               |                        |
| ①ICDとDPCの関係を説明することができる。<br>②DPC算定、初級がん登録業務を理解することができる。   |                        |                          |               |                        |
| 授業のスケジュールと内容   |                        |                          |               |                        |
| 第1回目   | ガイダンス・概要説明             |                          |               |                        |
| 第2回目   | 電子カルテとDPC              |                          |               |                        |
| 第3回目   | レセコンとDPC操作             |                          |               |                        |
| 第4回目   | DPCとICDコーディングの繋がり      |                          |               |                        |
| 第5回目   | DPC対象病院・対象疾患 ※(レポート 1) |                          |               |                        |
| 第6回目   | DPC対象外薬剤               |                          |               |                        |
| 第7回目   | 包括評価の対象と出来高払いによるもの 1   |                          |               |                        |
| 第8回目   | 包括評価の対象と出来高払いによるもの 2   |                          |               |                        |
| 第9回目   | 診断群分類コード14桁の構成         |                          |               |                        |
| 第10回目  | 診断群分類・入院期間別点数          |                          |               |                        |
| 第11回目  | 主要診断群(MDC)・請求パターン      |                          |               |                        |
| 第12回目  | 厚生労働省病院調査について(DPC対象病院) |                          |               |                        |

|       |                        |      |                   |
|-------|------------------------|------|-------------------|
| 第13回目 | 厚生労働省病院調査について（DPC準備病院） |      |                   |
| 第14回目 | 包括評価部分の算定              | パターン | 1                 |
| 第15回目 | 包括評価部分の算定              | パターン | 2                 |
| 第16回目 | 包括評価部分の算定              | パターン | 3                 |
| 第17回目 | 包括評価部分の算定              | パターン | 4                 |
| 第18回目 | 包括評価部分の算定              | パターン | 5                 |
| 第19回目 | 包括評価部分の算定              | パターン | 6 ※（小テスト ①）       |
| 第20回目 | DPC請求NAVIによる実践症例演習     | I    | （1～2）             |
| 第21回目 | DPC請求NAVIによる実践症例演習     | I    | （1～2）             |
| 第22回目 | DPC請求NAVIによる実践症例演習     | II   | （3～4）             |
| 第23回目 | DPC請求NAVIによる実践症例演習     | III  | （5～6）             |
| 第24回目 | DPC請求NAVIによる実践症例演習     | IV   | （7～8）             |
| 第25回目 | DPC請求NAVIによる実践症例演習     | V    | （9～10）            |
| 第26回目 | DPC請求NAVIによる実践症例演習     | VI   | （11～12） ※（小テスト ②） |
| 第27回目 | 院内がん登録について             |      |                   |
| 第28回目 | 地域がん登録について             |      | ※（レポート ②）         |
| 第29回目 | 臓器がん登録および活用法           |      |                   |
| 第30回目 | 症例による包括点数と出来高払いの比較     |      |                   |
|       |                        |      |                   |

成績評価の方法と基準

| 評価の領域      | 割合  | 評価の基準  |
|------------|-----|--|
| 授業参加態度     | 20% | 分からないところがあれば積極的に質問している。                          |
| レポート       | 20% | 出された課題の提出期限を守っている。講義内容をふまえて、課題を理解し適切な倫理展開となっている。 |
| 調査報告書      |     |  |
| 小テスト       | 20% | 授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。                |
| 試験         | 40% | 授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。                       |
| 発表内容（態度含む） |     |  |
| その他        |     |  |

教科書と参考図書

DPC請求NAVI（ケアアンドコミュニケーション）

履修上の留意点・ルール

授業を集中し、DPC請求をよく理解する。PC操作で分からないところは必ず質問すること。学内DPC検定を受験する場合は必ず履修すること。